

### 第3 重点施策の概要

#### 1 経済安全保障対策の推進

##### 技術情報流出防止対策推進事業 <継続>

県内企業等による技術情報流出防止に向けた取組を支援するため、企業等を対象とした有識者によるセミナーの開催、警察からの情報提供、出張型のサイバー攻撃対処訓練を通じて技術情報流出防止に向けた機運の浸透を図ります。

##### 【事業の概要】

###### ■ 事業内容

- 警察主催のセミナーの開催
- 県内企業等への情報提供
- サイバー攻撃対処訓練の実施

###### ■ 予算額

97万9千円

#### 2 大規模災害への対応力の強化

##### 県民に安心・安全を届ける災害対策のDX化 <新規>

大規模災害発生時に、県民に対する正確な情報の速やかな発信や迅速な救出救助活動ができるよう、デジタル技術を活用して情報収集・集約・共有体制を強化し、災害対処能力の強化を図ります。

##### 【事業の概要】

###### ■ 事業内容

- 災害時の情報収集等の強化に必要な資機材の整備
- 被災者へのタイムリーな情報発信による安心感の醸成

###### ■ 予算額

7,319万円

### 3 犯罪や暴力から県民を守る対策の推進

#### (1) ストーカー・DV等の犯罪被害防止対策事業 <継続>

ストーカー・DV等の被害者への支援の充実と被害の未然防止・拡大防止のための施策のほか、加害者の抱える問題にも着目した対策を推進します。

##### 【事業の概要】

###### ■ 事業内容

- カウンセリング等による加害者更生の推進

###### ■ 予算額

43万3千円

#### (2) うそ電話詐欺未然防止推進事業 <継続>

高齢者等に対する注意喚起や防犯団体と連携した戸別訪問指導の実施等により、手口が変化するうそ電話詐欺被害の未然防止と更なる防犯力強化を図ります。

##### 【事業の概要】

###### ■ 事業内容

- うそ電話詐欺対策拠点活動（コールセンター）による注意喚起
- うそ電話詐欺被害防止戸別訪問隊による防犯指導
- 事業者等と連携した水際対策の強化

###### ■ 予算額

532万3千円

### (3) 社会全体で温かく支える犯罪被害者等支援活動 <継続>

犯罪や交通事故によって、身体的、精神的又は経済的に被害を受け、また、不安を感じている犯罪被害者等に対し、刑事手続きの説明等の情報提供及び医療費に係る公費負担等の各種支援制度を実施するとともに、多くの県民が犯罪被害者等への理解を深めるための広報啓発に取り組むなど、社会全体で温かく支える犯罪被害者等支援活動を推進します。

#### 【事業の概要】

##### ■ 事業内容

- 犯罪被害者等に対する情報の提供等  
「被害者の手引」の作成・配付
- 犯罪被害者等に対する精神的・経済的支援
  - ・ 犯罪被害者等に対する臨床心理士によるカウンセリング
  - ・ 身体犯被害者の医療費に係る公費負担制度
  - ・ 事情聴取場所及び一時避難場所の借上げ制度
- 民間被害者支援団体が培ってきたノウハウを活用した犯罪被害者等への支援活動の推進
  - ・ 電話、面接相談業務及び公判への付添い支援業務等の委託
  - ・ 中高生を対象とした「命の大切さを学ぶ教室」の開催等広報啓発業務の委託

##### ■ 予算額

1,332万3千円

### (4) 少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動 <継続>

非行少年の立ち直りを支援し、再非行に走ることを防ぐため、少年サポートセンターによる「体験型共同生活」を実施するほか、深刻化するネット問題やいじめ問題等に対応するため、少年安全サポーターによる非行防止教室の開催や学校への訪問活動等により、児童生徒の非行及び被害の未然防止対策を推進します。

#### 【事業の概要】

##### ■ 事業内容

- 非行少年の立ち直り支援活動の推進
- 「体験型共同生活」の実施による少年の社会性、協調性及び規範意識の醸成
- 非行防止教室の開催や学校への訪問活動等による児童生徒の非行及び被害防止対策の推進

##### ■ 予算額

4,232万3千円

(5) ICT機器を活用した少年の被害防止対策等推進事業 <継続>

通学路など、子供にとって身近な地域で起こりうる被害や交通事故に対し、VR動画やリモート講習など、デジタル技術を活用した防犯・交通安全教室等を実施することにより、犯罪被害等を未然に回避できるよう自主防犯意識及び交通安全意識の高揚を推進します。

【事業の概要】

■ 事業内容

- 学校と協働し、通学路の危険箇所等に係るVR動画の制作
- VRゴーグル等を活用した体験型の防犯・交通安全教室を実施  
家庭でも復習できるような体制の整備
- リモートによる教育・意見交換会の実施
- 動画配信サイトや各種イベントを通じた広報

■ 予算額

60万2千円

(6) 警察学生ボランティア活性化事業 <新規>

ボランティア活動に参加した学生に対して進学時・就活時にも活用できる「活動証明書」を発行する制度を設け、学生ボランティア活動の活性化を促進し、学生の規範意識・自主防犯意識の向上を図ります。

【事業の概要】

■ 事業内容

- 学生ボランティア活動証明書の発行
- 学生ボランティア活動報告会の開催
- 学生ボランティア活動の充実

■ 予算額

107万5千円

## 4 地域に密着した安全・安心活動の推進

### (1) 防府警察署建設事業 <継続>

防府市の治安維持拠点施設として、地域の治安情勢を踏まえた効果的な警察活動の推進、行政サービスの向上と住民の利便性を考慮した防府警察署の建替え整備を進めます。

#### 【事業の概要】

- 事業内容
  - 建設地 防府市寿町
  - 令和7年度事業  
新築工事（4か年計画の1年目）
- 予算額  
1,266万4千円

### (2) 周南警察署建設事業 <継続>

周南地域の治安維持拠点施設として、地域の治安情勢を踏まえた広域的・効果的な警察活動の推進、行政サービスの向上と住民の利便性を考慮した周南警察署の建替え整備を進めます。

#### 【事業の概要】

- 事業内容
  - 建設地 周南市遠石
  - 令和7年度事業  
既存建物解体工事（3か年計画の1年目）  
用地補強・整備（設計）
- 予算額  
2億2,655万5千円

(3) 交番・駐在所整備事業 <継続>

老朽化が著しい交番や駐在所については、地域住民の利便性を考慮して計画的な施設整備を行い、行政サービスの向上を図ります。

【事業の概要】

■ 事業内容

- 交番・駐在所の新築等  
岩国警察署和木交番、美祢警察署美東交番、  
萩警察署福井駐在所
- 連絡所（旧駐在所）の解体  
柳井警察署和田連絡所

■ 予算額

3億710万5千円

(4) 警察施設照明器具LED化改修事業 <継続>

警察施設の脱炭素化を図るため、照明器具のLED化を実施します。

【事業の概要】

■ 事業内容

- 整備場所 警察本部庁舎等
- 事業期間 令和5年度～令和7年度

■ 予算額

4億5,161万5千円

**(5) 県民の安心を育むパトロール強化活動 <継続>**

住民からのパトロール要望に応えるため、地域の実態に応じた制服警察官によるパトロールを強化し、事件・事故の未然防止に努めるとともに、「あんしんカード」の積極的な活用等により、地域住民が安心して暮らせる社会の実現を図ります。

**【事業の概要】**

■ 事業内容

- 交番相談員配置による地域警察活動の支援
- 管内情勢、住民要望を踏まえたパトロール活動の実施
- 犯罪実態の分析による犯罪の予防・検挙活動の推進
- 「あんしんカード」の効果的な活用

■ 予算額

2億2,240万3千円

**(6) 県民生活の安全と平穏を確保する暴力団排除活動 <継続>**

暴力追放県民大会や講習会等を積極的に開催し、県内における暴力団排除の気運を更に盛り上げるとともに、暴力団排除条例等を活用した暴力団との関係遮断対策を強化し、暴力団のいない安全で安心なまちづくりを推進します。

**【事業の概要】**

■ 事業内容

- 公益財団法人山口県暴力追放運動推進センターの活用
- 暴力団対策法に基づく「不当要求防止責任者講習」の開催
- 保護対策による暴力団事件被害者等の安全の確保

■ 予算額

1,019万7千円

(7) 街頭防犯カメラ設置補助金交付事業 <新規>

自治会等が設置する防犯カメラについて、設置費用の一部を補助し、防犯カメラの設置を促進することにより、物価高騰下における暮らしの安全・安心を確保し、県民の安定した生活基盤を確保します。

【事業の概要】

■ 事業内容

自治会等が設置する防犯カメラの設置費用を補助

[補助率] 3 / 4

[補助上限] 25万円

■ 予算額

1,025万円



## 5 交通事故から県民を守る対策の推進

### (1) 交通安全県やまぐち推進事業 <継続>

交通事故総量及び交通死亡事故の減少を図るため、高齢者が交通事故の加害者・被害者とならないための対策の推進と県民の交通ルール遵守・マナー向上を図ります。

#### 【事業の概要】

##### ■ 事業内容

##### ○ 高齢者セーフティ事業

- ・ 高齢者と関わりの深い関係機関・団体と連携し、交通事故情勢に関心や危機感を持たせる情報発信や反射材着用の普及促進を図るなど、高齢者を重点とした交通事故防止対策を推進し、県民全体の交通安全意識を醸成
- ・ 交通安全定期診断による高齢ドライバーへの安全運転指導の実施
- ・ 運転卒業証制度による運転免許返納後の生活支援の充実を図り、自主返納しやすい環境を構築
- ・ 安全運転サポート車の普及に向けた広報啓発活動の展開

##### ○ 交通安全マナーアップ推進事業

- ・ 横断歩道ハンドサイン運動をはじめとする各種取組により、歩行者の安全確保及びドライバーの歩行者優先意識を浸透させ、横断歩行者被害の交通事故を抑止
- ・ 児童、生徒、教職員等を対象とした交通安全教育の実施
- ・ 飲酒運転・妨害運転撲滅に向けたセミナーの開催
- ・ スピードダウン推進事業所と連携した速度抑制対策やハイビームの上手な活用による交通事故防止対策を推進
- ・ 自転車の安全利用と法改正を含めた交通ルールの周知

##### ■ 予算額

385万円

## (2) 交通事故防止施設総合整備事業 <継続>

高齢者や速度抑制に配慮した信号機を整備するほか、通学路等において子供を交通事故から守るための道路標示を整備するなど、各種交通安全施設の整備を図り、交通事故のない安全で安心なまちづくりを推進します。

### 【事業の概要】

#### ■ 事業内容

- 高齢者等の交通事故防止対策の推進
  - ・ 信号灯器のLED化
  - ・ 横断歩道標示、道路標識の高輝度化
- 速度抑制対策の推進
  - ・ 信号機の系統化
  - ・ 標識標示の整備
- 在日米軍再編関連対策
  - ・ 信号柱の強度化
  - ・ 車両用灯器のLED化
  - ・ 道路標識・道路標示の高輝度化
- その他の交通安全施設の整備
  - ・ 横断歩道等の高輝度化
  - ・ 信号柱の移設
  - ・ 信号機電源付加装置の整備
  - ・ はみ出し禁止ラインの高輝度化

#### ■ 予算額

8億6,957万2千円

## 6 サイバー空間における安心・安全の確保

### サイバーセキュリティ対策事業 <継続>

スマートフォン用の高機能解析用資機材を整備し、サイバー犯罪に対する取締りを推進するとともに、民間事業者をはじめ、民間のセキュリティ対策を推進する団体等と連携し、官民一体となった実態把握や広報啓発活動を実施して、サイバー空間の脅威の低減を図ります。

#### 【事業の概要】

##### ■ 事業内容

- 捜査用資機材の整備
- サイバー空間の脅威へ対処するための職員の対処能力向上
- 県民に対するサイバーセキュリティ関連の研修及び情報発信

##### ■ 予算額

4,632万1千円